

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第533号（平成26年6月18日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

★年会費お振込みのお願いについて

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 「次期建設リサイクル推進計画」策定に向けパブコメ開始
2. 「国際コンテナ戦略港湾政策推進室発足式」を開催
3. 阪神国際港湾としての経営統合に合意

=====

《事務局からのお知らせ》

★平成26年度会費につきまして、お振込みのお願いのお知らせを事務局より順次発送しておりますので、ご査収の上お手続きをお願いいたします。

【事務局】

1. 「次期建設リサイクル推進計画」策定に向けパブコメ開始

国土交通省総合政策局は今年9月に予定している平成30年目標の「次期建設リサイクル推進計画」策定に向け、6月16日から方策（とりまとめ案）のパブリックコメントを開始した。

次期計画については建設リサイクル推進施設検討小委員会（嘉門雅史京都大学名誉教授）においてこれまで議論が進んできている。中期的に目指すべき方向として、①スクラップアンドビルド型・維持更新型工事への移行に対応し、再生資材の一層の活用を図る必要、②平成32年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた関連工事など、これまでとは異なる社会資本整備の展開に向けた新たな建設リサイクルへの対応、③東日本大震災では大量に発生した災害廃棄物の処理が課題となったことから、将来的大規模災害の発生に備え、災害廃棄物を円滑に建設資材として活用する体制を構築しておくこと、などを上げている。

特に再使用・再生資材の利用促進の重要性を指摘しており、

▽再生資材の使用状況に関する新たな指標の導入、

▽建設汚泥の工場内・工事間利用を促進するため先進的事例の周知、

▽中期的な建設発生土の需給動向を地域レベルで把握し、それを適宜設計に織り込んで需給バランスの改善を図るべき、

▽港湾工事で発生する浚渫土砂の有効活用にあたっては、干潟や浅場造成等の自然再生への活用を積極的に推進すべき、▽災害廃棄物及び津波堆積物由来の再生資材について、建設工事において有効利用が図られるようにすべき、などを上げている。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 「国際コンテナ戦略港湾政策推進室発足式」を開催

国土交通省は6月10日、省内において「国際コンテナ戦略港湾政策推進室発足式」を執り行った。野上国土交通副大臣が担当職員を前に、「世界の国際コンテナ港湾は大きく動き出している。我が国においても今が正念場。推進室は国が前面に立ち、オールジャパンでコンテナ戦略政策を強力に推進するために設置した。使命感を持って取り組んで頂きたい」と訓示した。

同推進室は今月1日、港湾局港湾経済課松良港湾物流戦略室長をヘッドに、本省ならびに地方整備局職員ら総勢22名で発足している。国際海上コンテナ貨物の「集貨」「創貨」「競争力強化」を実現するための組織。

【港湾空港タイムス】

.....

3. 阪神国際港湾としての経営統合に合意

大阪市と神戸市は6月5日、大阪港、神戸港の両埠頭会社を10月1日付で阪神国際港湾(株)として経営統合することについて合意した。統合スキームは上下分離方式、代表取締役会長には犬伏泰夫神戸港埠頭(株)社長、代表取締役社長には川端芳文大阪港埠頭(株)社長が就く。

阪神国際港湾は、国際コンテナ戦略港湾に選定されている阪神港の「港湾運営会社」の指定を目指して設立する。同社はガントリークレーン等の上物資産の保有・ユーザーへの賃貸、維持管理等を行う上物会社となる。

大阪港埠頭、神戸港埠頭は下物会社として存続し、岸壁、埠頭用地等の下物資産と既存資産の保有、維持管理、上物会社への賃貸等を行う。上下分離方式をとることで負債などを切り離し、機動的な運営の実現を目指す。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：細貝 隆司 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、大矢、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####